

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2(2)・49(18)	・併設施設との兼ね合いや、以前交流のあった関係各所との調整もあり、なかなか地域との交流の再開に至っていない。 ・コロナ禍より徐々に活動を緩和してきているため、以前と比較して外出や運動の機会が減少している。	・利用者それぞれに合った活動や運動、外出の機会を設けられるようにする。 ・交流を再開できるよう、併設施設や関係各所との検討をすすめる。	・本人の状態や体調、気候等考慮し、積極的に外出の機会を計画する。 ・毎日の生活で、体操や散歩、歩行訓練等運動する機会を設けるとともに、生活リハビリを実施し体を動かす。 ・交流の機会が設けられるよう、実現可能な交流の範囲について検討する。	12ヶ月
2	4(3)	・運営推進会議は実施しているものの、参加者が限定されている。	・参加者を拡大し、会議に参加してもらうことで施設への理解をふかめてもらう。 ・ご家族にもまんべんなく参加していただけるよう方法を検討する。	・参加者、開催方法等を含め、地域包括支援センターに相談し、計画・実施する。 ・ご家族に年に1回は参加していただけるよう時期をずらして個別にお声掛けする等、参加しやすい体制を整える。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月